



校訓 青雲大志

笑顔と挑戦

ともに学び、挑み続ける児童生徒の育成

井川義務教育学校
第 9 号
平成30年12月20日

文責 校長

師走も押し詰まり、今年も残すところあと10日あまりとなりました。どうも、時の流れが早く感じられて仕方ありません。皆様は如何でしょうか。

さて、4月には本校が県内初の義務教育学校として開校し、大運動会や学校祭などの行事等を通して、子どもたちに助けてもらいながらも、「一つの学校」を目指して邁進してまいりました。課題もたくさんあったと思いますが、保護者の皆様には、いつもご理解とご協力をいただき、心より感謝しております。どうか今後もよろしくお願いいたします。

よいお年をお迎えください。平成最後のお正月になりますね。

「感動をありがとう集会」 ～斎藤璃玖先輩をお招きして～ 11/27



井川中学時代の野球部監督と学級担任の二人が
璃玖先輩の話を引き出してくれました



鋭いスイングも披露
してくれました



現在の新旧野球部主将から
お礼の言葉と花束が
贈られました

今年の夏、甲子園で準優勝を果たし、たくさんの感動をくれた金農高野球部。立派にレギュラーを務めた井川町出身の斎藤璃玖先輩をお招きして、試合の感想やメッセージをいただきました。

(Qは質問内容、Aは璃玖先輩の回答)

Q：あの劇的なツーランスクイズの場面。

バッターボックスに入ったときの気持ちは？

A：周りの応援がものすごく、このよい雰囲気を感じていた。

Q：高校野球で学んだことは？

A：はじめは、甲子園ベスト4の先輩を越えようという目標で頑張っていたが、ある方にその程度の目標では成し遂げられないと言われた。それからは「全国制覇」が目標になり、今があると考えている。夢をもつにはより高い方がよい。更にその夢を叶えるために、今何をすべきかを考えて日々実行することが大切。

Q：後輩たちにメッセージを！

A：自分も小学校や中学校の時は、あまり主張する方ではなかったが、自分の意見をしっかりとつことが大切。特に7～9年生の皆さんは進路を決めるときには、自分の目指すことややりたいことを大事にしてほしい。



参加者全員で記念撮影をしました
(璃玖先輩は前方2列目中央、花束を持っています)



最後はみんなに包まれて退場しました

